

スーパービジョン体験談2025 島崎智洋さんの場合

スーパービジョン（以下、SVと表記する場合あり）ってなに？と思われる方も多いと思います。

そんなわけで、スーパービジョンを受けた会員さんに、生涯研修センターが突撃インタビュー。

スーパービジョンを受けた会員の声をお聴きください。

そして「いいじゃん！」と思われたら、是非スーパービジョンの活用をご検討ください。

(参考)スーパービジョンとは - 認定社会福祉士・認定認証機構 日本社会福祉士会

https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/supervision/sv_jisshi.html



スーパービジョンを受けてみようと思ったきっかけはなんですか



基礎研修Ⅰ～Ⅲを受講し、継続的に学び、知識を深めていくことの大切さを実感しました。

「認定社会福祉士」を目標にして単位の取得を進めるなかで、SVについては、日本社会福祉士会のHPで公開している「スーパーバイザー登録者一覧」の中から、自分が希望する分野のバイザーを探しました。

異なるバイザーからの指導を主体的に受けることができ、多角的な視点が養われることも、SVの特徴かと思います。

スーパービジョンを受けてどのようにかわりましたか



SVには、ストレスや悩みを軽減する(支持的機能)、ソーシャルワーカーの専門性が高まる(教育的機能)、業務を効果的・効率的・倫理的に遂行できる(管理的機能)があります。

私の場合も、日常の業務の中で感じたこと、個人的に生じた違和感や葛藤について、単なる悩み相談ではなく、「社会福祉士としての専門性」や「個別ケースや地域の課題、制度や組織などへの働きかけ」などにも絡めて、毎回テーマを選定しています。

自身の変化として、根拠に基づく支援や、状況に応じた判断ができるようになるなど、仕事上でも相乗効果が大きいと実感しています。



これからスーパービジョンを受ける人にメッセージをお願いします



同じ社会福祉士からのSVを継続的に受けられる機会はとても貴重です。特に、私のように、職場内に他に社会福祉士がいない場合、業務上求められる役割が多い反面、個人としても自己研鑽し資質向上に努めていくことが不可欠です。

SVの課題選定については、最初は戸惑いも感じましたが、真に自身が望む内容のSVを受けられるということになります。

私にとってSVは、社会福祉士としてのアイデンティティを確立し、専門職として職責と機能が遂行できるようになる、とても良い機会になっています。

